

平成15年 9月 3日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証一部、大証一部)
問合せ先 取締役経営企画室長
中尾 光良
Tel . 06-6209-8500

上海駐在員事務所設立のお知らせ

荒川化学工業(大阪市中央区、社長 末村長弘)は、中国における上海駐在員事務所の設立を決定しましたのでお知らせします。

1. 国際展開の経緯

昭和42年(1967) 当社最初の海外進出として、台湾・基隆市に合併会社天立化学工業股份有限公司(現、台湾荒川化学工業股份有限公司)を設立し、ロジン関連製品(製紙用サイズ剤)の生産を開始しました。以来、昭和57年(1982)に米国荒川化学、平成7年(1995)に中国・梧州、香港、タイ、翌平成8年に中国・廈門、平成10年(1998)にドイツにそれぞれ現地法人を設立しています。

そして、今年度よりスタートした中期5ヵ年経営計画(平成15年4月~平成20年3月)では、これまで進めてきたグローバルな展開のさらなる発展を目指します。事業展開としては、アジア地域、特に伸長が著しい中国における市場開拓を推進します。中国は当社主要原料であるガムロジンの世界最大の産地でもあり、また近年は経済成長にともないロジン関連化学製品(製紙用薬品、印刷インキ・塗料用樹脂、粘着・接着材用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤等)の需要も伸びており、当社関連顧客の進出も活発に行われております。今後は中国市場におけるマーケティングを積極的に進め、原料とユーザーの両面を考慮した拠点の設立を進めていきます。

なお、今年度は中国での廈門荒川化学における工業用樹脂設備の増強に着手しております。

2. 上海駐在員事務所設立

中国における事業展開を推進するため、上海駐在員事務所の設立を決定しました。

上海は世界の工場と呼ばれる中国の中心的存在で、中国沿海部のほぼ中央に位置してハブ空港を有する交通の要所でもあり、活動拠点として最適な立地であると判断しました。

事務所設立後の活動としては、中国各地の客先訪問を通じて製紙用薬品および工業用樹脂（印刷インキ・塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、電子材料用樹脂等）のマーケティング活動を積極的に進めていきます。

現在、国際事業部にて設立準備を進めており、本年の秋頃には日本から派遣の駐在員と現地スタッフによる数名の体制で活動を開始する計画です。

以上

[参考資料]

荒川化学グループ国際展開の歩み

明治

9年11月 荒川政七が大阪市東区伏見町2丁目に生薬商を開業

昭和

6年 1月 合資会社荒川商店に改組

18年11月 荒川林産化学合資会社に改称

31年 9月 荒川林産化学工業株式会社に改組

42年 5月 天立化学工業股份有限公司（現、台湾荒川化学工業股份有限公司）を設立

43年 5月 台北駐在員事務所を開設

50年 6月 ハンブルク駐在員事務所を開設

52年 4月 荒川化学工業株式会社に改称

57年 5月 ARAKAWA CHEMICAL (USA) INC. を設立

平成

7年 6月 梧州荒川化学工業有限公司を設立

7年 7月 ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD. を設立

7年10月 香港荒川化学有限公司を設立

8年 8月 廈門荒川化学工業有限公司を設立

10年11月 ARAKAWA Europe GmbH を設立